

平成26年度愛知県生涯学習推進計画事業  
(案) について

1 平成26年度愛知県生涯学習推進計画事業数及び予算額

総事業数、総予算額

10部局44課

154事業 2,106,087千円

(10部局42課 150事業 1,871,166千円)

2 部局別事業数

部局・課		事業数		部局・課		事業数		部局・課		事業数		
総務部法務文書課		1	1	環境部	水地盤環境課	2	13	教育委員会事務局	総務課	3	50	
地域振興部	地域政策課	1	8		自然環境課	3						
	国際課	6			資源循環推進課	1						
	交通対策課	1		健康福祉部	子育て支援課	3	21		高等学校教育課	3		
県民生活部	県民総務課	4	34		高齢福祉課	3			義務教育課	3		
	県民生活課	2			障害福祉課	8			特別支援教育課	1		
	社会活動推進課	5			健康対策課	7			健康学習課	3		
	男女共同参画推進課	9		産業労働部	産業労働課	1	8		体育スポーツ課	4		
	地域安全課	2			産業科学技術課	2			警察本部	子ども女性安全対策課		2
	文化芸術課	11			労働福祉課	2				少年課		3
	学事振興課	1			就業促進課	3		生活安全総務課		1		
防災局	防災危機管理課	3	4	農林水産部	食育推進課	2	7	サイバー犯罪対策課	1			
	消防保安課	1			農業経営課	2		交通総務課	1			
環境部	環境政策課	3	1		林務課	1		10部局44課154事業				
	環境活動推進課	3			森林保全課	2						
	大気環境課	1										

### 3 体系別事業数及び予算額

5本の柱	23の具体的な施策	事業数	予算額 (千円)
① 長寿社会を豊かに生きる 生涯学習	「生きる力」を育む学校教育の充実	8	33,806
	健康づくり・スポーツ活動の促進	14	209,026
	芸術・文化の振興	11	75,216
	高齢期の学びと社会参加活動の促進	3	162,126
② 家庭と地域の教育力を高 める生涯学習	家庭教育の充実と子育て支援	12	53,881
	地域の教育力の向上	4	261,603
	青少年の健全育成	9	6,214
	食育の推進	3	17,987
③ 持続可能な社会づくりを 進める生涯学習	持続発展教育（ESD）の推進	5	291,428
	環境学習・環境活動の推進	14	93,694
	安心・安全な県民生活の確立	16	26,168
	人権意識の啓発	6	7,289
	男女共同参画社会の形成	14	19,606
	障害者との共生社会づくり	9	72,145
	多文化共生社会の推進	7	10,026
	「モノづくり」の継承と発展	4	482,511
④ 職業的自立を高める生涯 学習	若者等に対する職業意識・職業観の醸成	2	40,677
	職業能力の向上	3	43,466
	リカレント教育の推進	2	25,096
⑤ 生涯学習推進体制づくり	生涯学習推進体制の充実	2	690
	学習情報の提供と相談体制の充実	1	25,096
	人材・団体の育成と調査・研究の推進	4	28,541
	生涯学習関連施設の充実	12	297,032
合 計		154	2,106,087

※ 合計は1事業で複数の体系に該当する事業もあり、合計とは一致しない。

## 4 平成26年度の主な事業

### <① 長寿社会を豊かに生きる生涯学習>

健康づくり活動支援事業費（あいち健康マイレージ事業） 1,578千円（健康対策課）

「健康日本21あいち新計画」に基づき、県民の健康寿命をさらに延伸させるため、県民が健康づくりに取り組むことでマイレージ（ポイント）を獲得し、一定以上のマイレージ獲得者には「優待カード」を交付する。（「優待カード」は県内の協力店で提示することにより、様々な特典が受けられる。）

- ・ 県と市町村との協働事業
- ・ 健康づくりの取組例：毎日8,000歩以上歩く、健康講座や地域での活動に参加する。
- ・ 特典例：買物ポイント2倍、ドリンク一杯サービス、粗品プレゼント

#### 健康日本21あいち新計画

（4つの基本方針）

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| （Ⅰ）生涯を通じた健康づくり    | （Ⅲ）生活習慣の見直し    |
| （Ⅱ）疾病の発症予防及び重症化予防 | （Ⅳ）社会で支える健康づくり |



（基本目標） 健康長寿あいちの実現（健康寿命の延伸と健康格差の縮小）

大学・企業と連携したスポーツ推進事業費 5,678千円（体育スポーツ課）

大学・企業が有するスポーツ資源（人材、施設）を地域スポーツの推進に効果的に活用し、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化を図る。

#### ・地域コミュニティ活性化プロジェクトⅠ

トップアスリートや競技団体、企業と連携したスポーツイベントを開催する。

- ・ 子どもから高齢者まで参加できるスポーツ体験
- ・ 障害者スポーツ体験
- ・ 栄養・介護などの健康講座

#### ・地域コミュニティ活性化プロジェクトⅡ

大学（東海学園大学）の施設・人材を活用して地域コミュニティの活性化に取り組む。

- ・ 地域住民を対象とした各種スポーツ教室
- ・ スポーツ指導者研修講座
- ・ スポーツサイエンスプログラム

## <② 家庭と地域の教育力を高める生涯学習>

あいっこ「親の育ち」応援事業費

774 千円（生涯学習課）

地域の家庭教育を担う人材の養成及びその人材を活用した学習機会の提供等を行うとともに、社会全体の子育てに対する理解の促進や親の育ちを応援した家庭の教育力の向上を図る。

### ・「親の育ち」家庭教育支援者養成事業

「あいっこ『親の学び』学習プログラム」を活用した講座の講師を養成するために、家庭教育支援や子育て支援に関心がある者、子ども会やPTA等の指導者として活動している者を対象とした講座を開催する。（尾張・三河 各4日間8講座）

- （講座内容）
- ・乳幼児期、幼児期等各発達段階における子どもの特徴について
  - ・家庭教育支援の現状と課題 など

### ・「親の育ち」家庭教育研修会推進事業

子育てサークル、幼稚園、保育所、小中学校等に子育てネットワークを派遣し、乳幼児から中学生の子どもを持つ保護者を対象とした研修会を実施する。

（講座内容）「あいっこ『親の学び』学習プログラム」を活用した講座

- ①乳幼児編（子育てははじめの一步・子どもの自尊心を育てる）
- ②幼児期編（早寝早起き朝ごはん・言葉掛けを見直そう）
- ③児童期編（子どもの感受性にどう向き合うか・子どもの褒め方、叱り方）
- ④思春期編（第二次性徴に戸惑う子どもに寄り添おう・子育てを振り返って）

（参考）

### 愛知県子ども読書活動推進計画（第三次）の推進

～読書が好き！と言える子どもの育成を目指して～

平成26年3月に「愛知県子ども読書活動推進計画（第三次）」を策定し、子どもが小さい頃の家庭での読み聞かせの充実、絵本の読み聞かせボランティアなど地域との連携、学校における魅力ある図書館づくりなど、学校・家庭・地域における読書活動の推進に取り組み、生涯学習推進計画に記載した家庭と地域の教育力の向上を図る。

### <③ 持続可能な社会づくりを進める生涯学習>

#### 持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議支援事業費

289,350 千円（ESD会議支援室）

ユネスコ及び日本政府の主催で開催される「ESDに関するユネスコ世界会議」の会議支援及び関連事業等を実施する。

#### 持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議の概要

- ・主 催 ユネスコ、日本政府
- ・開催期間 平成 26 年 11 月 10 日～12 日  
（閣僚級会合、全体会合等）  
平成 26 年 11 月 13 日  
（フォローアップ会合）
- ・開催場所 名古屋国際会議場
- ・参加規模 国内外の閣僚、政府関係者など約 1,000 人を含む数千人規模を想定

#### ・開催支援費負担金（245,664 千円）

世界会議の成功に向け、「ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会」において、会議支援や、あいち・なごやの魅力発信、ESDの普及啓発・取組促進を進める。

#### ・県費事業（21,336 千円）

県全体でESDの取組を促進するため、市町村におけるESDの取組を広く発信し、多様な主体と交流する市町村ESDシンポジウム等を実施する。

#### ・子ども会議開催費負担金（22,350 千円）

県内の子どもたちが中心となり、持続可能な社会づくりに向け、何をすべきかを学び、話し合い、その成果を提言としてまとめて発信する「子ども会議」を開催する。

#### ユネスコスクール支援事業費

14,500 千円（生涯学習課）

持続可能な開発のための教育（ESD）の推進拠点となるユネスコスクールを増やすため、加盟校が地域と協働して行うESD活動に対しての助成金の交付等を行う。

#### ・ユネスコスクール加盟促進助成金（14,000 千円）

1校につき200千円を上限として、70校に助成を行う。

#### ・ユネスコスクール加盟申請支援事業費（500 千円）

交流会（年2回）を実施するとともに、活動事例集（2,300部）を作成・配付する。

#### <④ 職業的自立を高める生涯学習>

技能五輪・アビリンピックあいち大会開催費

480,583 千円

(技能五輪・アビリンピック推進室)

平成 26 年 11 月に県内 8 市 14 会場において「技能五輪・アビリンピックあいち大会 2014 (第 52 回技能五輪全国大会・第 35 回全国障害者技能競技大会 (全国アビリンピック))」を開催する。

- ・ 競技会場の運営、出場選手等の輸送・宿泊支援等
- ・ 中小企業や団体等に所属する選手への支援、合同公開練習会の実施

	技能五輪全国大会	全国アビリンピック
競技日程	平成 26 年 11 月 28 日～12 月 1 日	平成 26 年 11 月 21 日～23 日
競技会場	名古屋市中小企業振興会館他	名古屋市国際展示場
競技職種	機械組立て、旋盤等 41 職種	機械 CAD、パソコン組立等 24 種目
参加者数	約 3,000 人 (役員・関係者含む)	約 1,500 人 (役員・関係者含む)
来場者数	18 万人以上 (目標) 両大会併せての延べ人数	

#### <⑤ 生涯学習推進体制づくり>

大学と連携した社会教育担当者研修会費

171 千円 (生涯学習課)

社会教育の最前線で活動する公民館主事等の社会教育担当職員に対して、名古屋大学と連携しながら、体系的・実践的な講座を継続して提供し、職員の資質向上を図る。

##### ・ 基礎的・基本的な知識・技能の養成を図る研修

県内各市町村の社会教育関係課職員、公民館等の社会教育施設職員のうち、比較的経験年数の浅い者を対象として、基礎的・基本的な講座を提供する。

- (研修内容)
- ・ 社会教育の意義や必要性、現在の状況等に関する講義
  - ・ プレゼンテーション技術やアイスブレイクの手法などのグループワーク

##### ・ 高度で専門的な知識・技能の向上を図る研修

県内各市町村で社会教育に携わっている職員のうち、原則として社会教育主事資格取得講習を修了した者を対象として、高度で専門的な講座を提供する。

- (研修内容)
- ・ 参加市町村が直面している問題点等に対するゼミ形式による討論
  - ・ 高度で専門的な知識を習得するために必要となる講義
  - ・ フィールドワーク